

G-405 取扱説明書

VNS GeoBox シリーズ

4K マルチディスプレイコントローラー



本機の特長

マルチディスプレイ機能 (→14 ページ)

1つの映像コンテンツを複数の表示機器にまたいで表示

マルチフォーマット入力対応 (→12 ページ)

HDMI、DisplayPort、DVI-I(HDMI or DVI-D or VGA)の4K入力に対応(VGAのみ4K入力未対応)

スケーリング出力 (→13 ページ)

1080p、1920x1200 など 11種類の解像度出力に対応

映像反転 (→13 ページ)

オリジナル映像を反転(左右、上下、左右+上下)表示

パターンメモリ (→20 ページ)

最大5通りの各種設定(入出力、切出し、解像度など)パターンを記憶、呼び出し

EDID カスタマイズ (→20,21 ページ)

23種類プリセットEDIDを搭載、かつ4K/2KまでのEDIDカスタマイズが可能

多彩な制御 (→9,10,22 ページ)

リモコン、スイッチボタン、RS-232Cから制御が可能

目次

1 同梱品.....	6
2 オプション品.....	6
3 製品仕様について	6
3-1 モジュール	6
3-2 ループアウト端子	7
3-3 デュアルチャンネル.....	7
3-4 リモコン.....	7
3-5 リモコン延長.....	7
4 設定について.....	8
4-1 OSD 表示方法.....	8
4-2 操作ロック設定方法.....	8
4-3 リセット方法.....	8
4-4 基礎設定手順.....	8
5 製品画像.....	9
5-1 フロントパネル.....	9
5-2 リアパネル	9
5-3 リモコン	10

6	[Picture] カラープロパティの調整	11
7	[Image Setup] アナログ RGB 入力信号の調整	11
8	[Image Properties] イメージプロパティ設定	12
8-1	[Color] 色温度/RGB カラー設定	12
8-2	[Input Signal] 入力切替	12
8-3	[Scaling] スケーリング	12
8-4	[Output Mode] 出力解像度の設定	13
8-5	[Orientation] 映像反転	13
9	[Video Wall] ビデオウォール設定	14
9-1	[Zoom] ズーム	14
9-2	[Pan] 表示エリアの指定	15
9-3	[Overlap] オーバーラップ (ベゼル補正)	16
10	[3D Properties] 3D 表示設定	16
10-1	[Input Format]	16
10-2	[Output Format]	16
10-3	[1080p 24Hz Output]	17
10-4	[Identify]	17
11	[Options] オプション設定	17

1 1-1 [Information] ステータス確認.....	17
1 1-2 [Language] 言語選択.....	17
1 1-3 [Reset] リセット.....	18
1 1-4 [Accessibility] ボタン反応速度、メニューアウト、無信号時設定.....	18
1 1-5 [Setting] プロファイルの保存・呼出、RS-232C、EDID 設定.....	19
1 2 RS-232C 制御.....	22
1 2-1 ホストとの接続について.....	22
1 2-2 コマンド配列について.....	22
1 2-3 コマンド一覧.....	23
1 3 仕様.....	26

1 同梱品

・ G-405 本体	1 台
・ 電源コード	1 本
・ ネジ式ロック機構 AC アダプター (DC12V,3A)	1 個
・ リモコン (単 4 電池 2 個)	1 個
・ リモコン延長用ケーブル(2m)	1 本
・ リモコン受光部	1 個
・ 取扱説明書 兼 アフターサービス規定書 (本書)	1 部

※同梱の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

2 オプション品

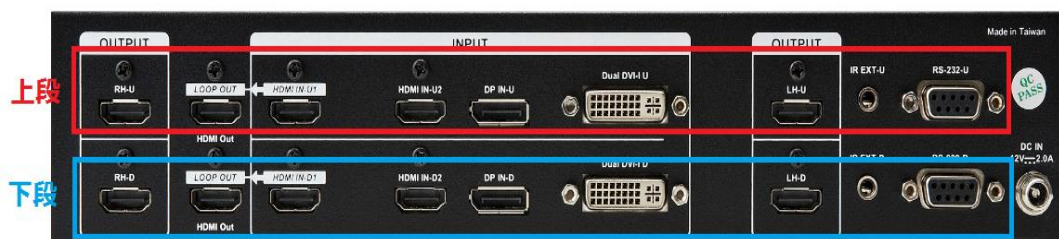
・ 2U ラックマウントキット (型番 : G404300L0010)

3 製品仕様について

3-1 モジュール

本機は、上段と下段のモジュールが独立しています。

上段モジュールと下段モジュールの各々で各種設定をする必要があります。



入力信号も上段と下段モジュールで独立していますので、1 つの映像コンテンツを 3 面以上の表示機器に出力する場合、映像分配器などを別途用意して上段と下段モジュールにそれぞれ同一の信号を入力する必要がありますが、HDMI IN-U1 と HDMI IN-D1 の入力端子のみループアウト端子と連動しており、HDMI ケーブルを接続するだけで上下段に同一の信号を入力することができます。

3-2 ループアウト端子

ループアウト端子は、HDMI IN-U1 や HDMI IN-D1 に入力した HDMI 信号をパススルーする機能です。1つの HDMI 映像コンテンツを 3 面以上の表示機器に出力する場合、以下の接続例のように上段ループアウト端子と下段 HDMI IN-D1 間を HDMI ケーブルで接続するだけで、上下段モジュールに同一の信号を入力することができます。



3-3 デュアルチャンネル

上段モジュールにチャンネル A と B、下段モジュールにチャンネル A と B があります。出力端子毎（チャンネル A と B）に各種設定する必要があります。リモコンの CH A/B ボタンを押すと OSD メニューが切り替わって表示されます。



3-4 リモコン

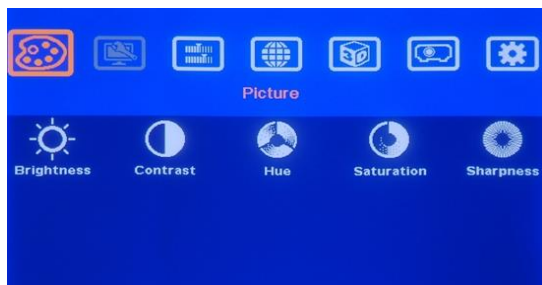
上段モジュールと下段モジュールそれぞれにリモコン受光部があります。初期設定では上段と下段モジュールのリモコン ID が同一のため、フロントパネルのリモコン受光部に向けてリモコン操作した場合、両モジュールが一斉に反応します。上段・下段のいずれかのリモコン ID を変更することで個別に反応するように設定できます。（詳細は項目 11-5-3 を参照）。または、付属品のリモコン延長用ケーブルとリモコン受光部を使って個別に反応するように設定できます。

3-5 リモコン延長

市販の 3.5mm ステレオミニケーブルを流用することで、リモコンを最長 20m まで延長が可能です。本機と表示機器の設置場所が離れている場合、予め長尺ケーブルをご用意ください。製品には 2m のリモコン延長用ケーブルが付属しています。

4 設定について

本機では、フロントパネルのボタン・リモコンで OSD（On Screen Display）を表示して各種設定が行えます。RS-232C 経由でも直接設定も可能です。



4-1 OSD 表示方法

OSD は、リモコンまたはフロントパネルの Menu ボタンを押すと表示します。

4-2 操作ロック設定方法

リモコンまたはフロントパネルの Menu ボタンを 5 秒間の押下で、リモコンやフロントパネルからの操作をロックすることができます。同様に Menu ボタンを 5 秒間の押下でロック解除します。

4-3 リセット方法

OSD[Options]> [Reset]を実行すると設定値がリセットされます。

4-4 基礎設定手順

ステップ 1 : EDID を設定する

OSD [Options]> [EDID] （詳細は項目 11-5-6 を参照）

※EDID を必要としないソース機器と接続する場合、入力解像度と同一の EDID に設定してください。

ステップ 2 : 出力解像度を設定する （詳細は項目 8-4 を参照）

OSD [Image Properties]> [Output Mode]

ステップ 3 : 全体の面数を設定する （詳細は項目 9-1 を参照）

OSD[Video Wall]> [Zoom]

ステップ 4 : 切り出し表示したいエリアを設定する （詳細は項目 9-2 を参照）

OSD[Video Wall]> [Pan]

ステップ 5 : オーバーラップ設定でベゼル補正する （詳細は項目 9-3 を参照）

OSD [Video Wall]> [Overlap]

5 製品画像

5-1 フロントパネル



- ① 電源 ON/OFF スイッチ
- ② リモコン受光部
- ③ OSD Menu ボタン
- ④ ENTER ボタン
- ⑤ 入力信号選択ボタン
- ⑥ 出力解像度選択ボタン

- ⑦ CH-ID 表示ボタン
- ⑧ Profile 呼び出しボタン
- ⑨ ステータス LED
緑：稼働中、橙：パワーセーブモード
- ⑩ Video Wall 呼び出しボタン
- ⑪ CH L/R 選択ボタン

5-2 リアパネル



- ① HDMI 出力端子
- ② HDMI ループアウト端子
- ③ HDMI 入力端子 1 (ループ端子連動)
- ④ HDMI 入力端子 2 (ループ端子非連動)
- ⑤ DisplayPort 入力端子

- ⑥ DVI-I 入力端子
(HDMI、DVI-D、VGA 入力対応)
- ⑦ リモコン延長用端子
- ⑧ RS-232C 端子
- ⑨ 電源ジャック

5-3 リモコン

ボタン	機能
POWER	本体の電源 ON/OFF
PROFILE	OSD>OPTION>PROFILE を表示する
INFO	OSD>OPTION>INFO を表示する
CH A/B	チャンネル選択します
CH-1~4	本機では使用しません
IDX1~3,OTH	本機では使用しません
MUTE	OSD>Option>MUTE を表示する
BACK	前の画面に戻る
OK	決定する
▲▼◀▶	項目選択
EXIT	OSD を閉じます
MENU	OSD を表示する
INPUT※	入力信号を選択する
OUT	出力解像度を選択する
0-9	PROFILE、INDEX の # 選択
4 CORN	本機では使用しません
WARP	本機では使用しません
E.BLEND	本機では使用しません
V.WALL	OSD>Video Wall を表示
PATTERN	本機では使用しません
F1	本機では使用しません
TOP LH	本機では使用しません
TOP RH	本機では使用しません
POSITION	本機では使用しません
RATIO	本機では使用しません



※[OTH]を押下すると DVI-A を選択します。

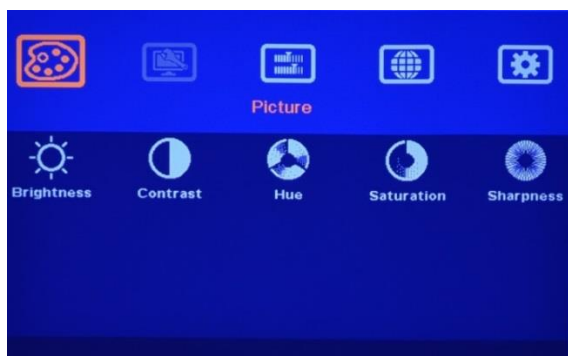
[HDMI]を押下すると HDMI-U1/D1 (HDMI-A) を選択します。但し、選択中の入力信号が HDMI-U1/D1 (HDMI-A) の場合、HDMI-U2/D2(HDMI-B)を選択します。

6 [Picture] カラープロパティの調整

表示機器全体のカラープロパティを調整できます。

但し、各々の表示機器の配色調整はできません。

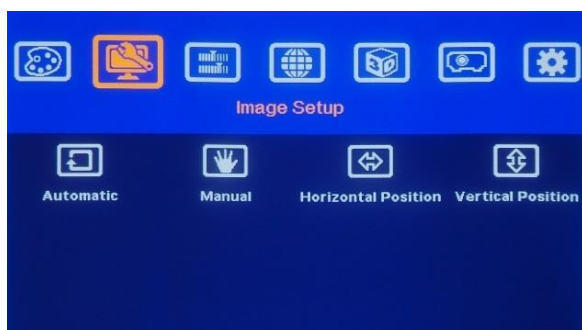
YUV 入力時は、全てのメニュー設定が可能。YUV 入力時以外は、[Brightness]と[Contrast]のメニューのみ設定可能。



[Brightness]	明るさ
[Contrast]	コントラスト
[Hue]	色調
[Saturation]	彩度
[Sharpness]	シャープネス

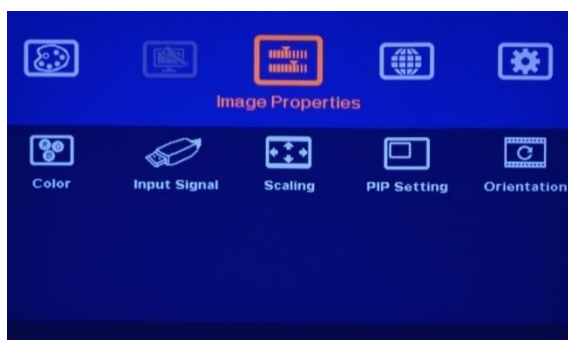
7 [Image Setup] アナログ RGB 入力信号の調整

本機能は、アナログ RGB 信号入力時のみ有効です。



[Automatic]	オート調整
[Manual]	クロックや位相ズレを調整
[Horizontal Position]	水平位置を手動調整
[Vertical Position]	垂直位置を手動調整

8 [Image Properties] イメージプロパティ設定



8-1 [Color] 色温度/RGB カラー設定



色温度の設定や RGB 個々のカラー設定が行えます。

8-2 [Input Signal] 入力切替

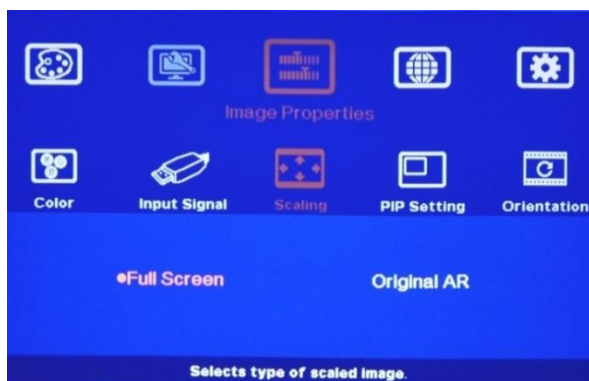
2 系統 HDMI、DisplayPort、DVI-I(HDMI or DVI-D or VGA)入力信号の選択が行えます。

8-3 [Scaling] スケーリング

ディスプレイのアスペクト比を合わせます。

[Full Screen]全画面表示

[Original AR]オリジナル映像ソースのアスペクト比を保ったまま表示



8-4 [Output Mode] 出力解像度の設定

以下の出力解像度から選択可能。

解像度	リフレッシュレート
720 x 480	60Hz
800×600	60Hz
1024×768	60Hz
1280×720	60Hz
1360×768	60Hz
1280×800	60Hz
1280×1024	60Hz
1400×1050	60Hz
1600×1200	60Hz
1920×1080	60Hz
1920×1200	60Hz
2048x1080	60Hz

8-5 [Orientation] 映像反転

映像ソースの反転（水平のみ、垂直のみ、水平+垂直）の設定が行えます。

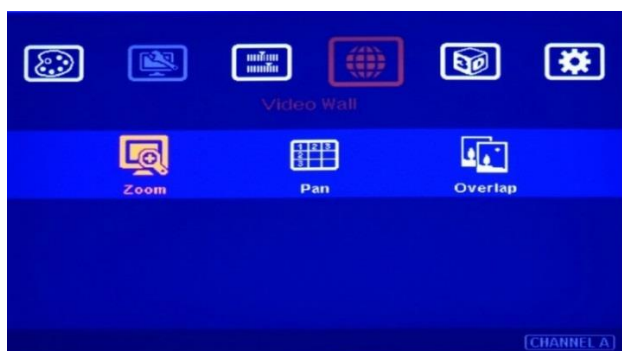


9 [Video Wall] ビデオウォール設定

1つの映像コンテンツを複数の表示機器にまたいで表示ができる機能です。

最大ヨコ 15 面、タテ 15 面に分割設定が可能で、分割した任意のエリアを表示できます。

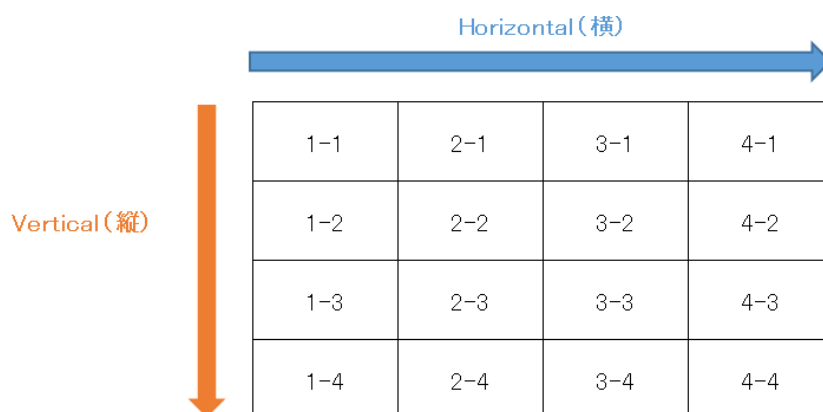
9-1 [Zoom] ズーム



[Zoom]では、全体の面数を設定します。

例：ヨコ 4 面、タテ 4 面の計 16 面の場合

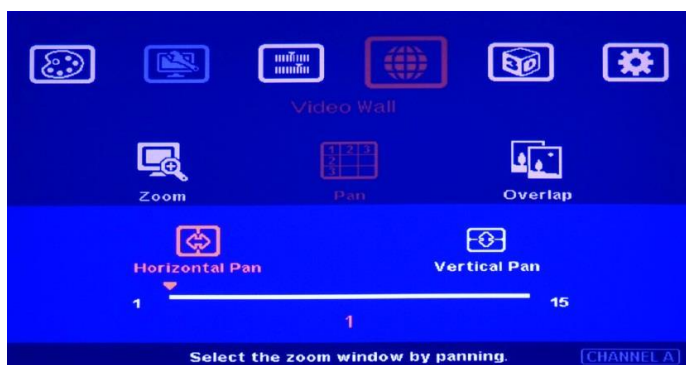
Horizontal Zoom (ヨコの面数) を 4、Vertical Zoom (タテの面数) を 4 の設定にします。



例示 16 面の場合、本機が 4 台必要になります。

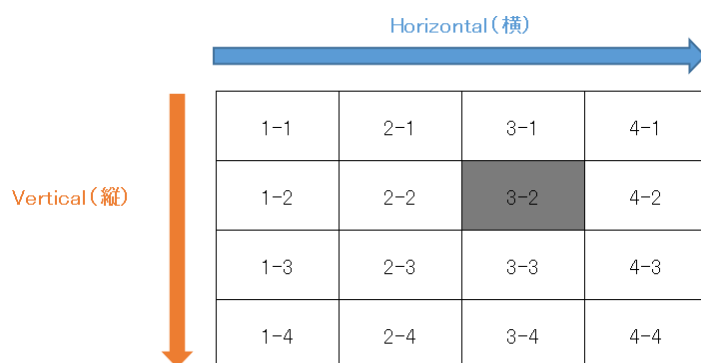
9-2 [Pan] 表示エリアの指定

切り出し表示したいエリアを指定します。



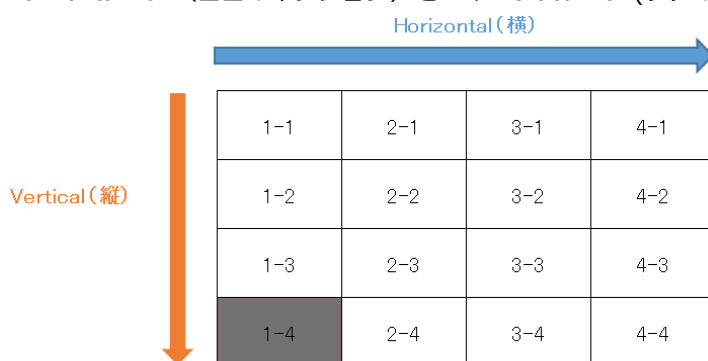
例1 ヨコ3、タテ2のエリアを表示したい場合

Horizontal Pan (ヨコのポジション) を3、Vertical Pan(タテのポジション) を2に設定します。



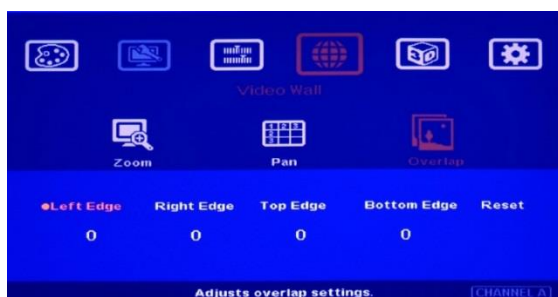
例2 ヨコ1、タテ4のエリアを表示したい場合

Horizontal Pan (ヨコのポジション) を1、Vertical Pan(タテのポジション) を4に設定します。



9-3 [Overlap] オーバーラップ° (ベゼル補正)

ディスプレイ毎にベゼル補正が行えます。水平、垂直に対して±900 ピクセルの補正が行えます。



1 0 [3D Properties] 3D 表示設定

本機能では、多様な 3D 映像ソースから 3D フォーマットにデコードできます。パッシブタイプ（偏光フィルター方式）に対応します。分配した 3D 映像を 2 台の本機に入力し、2 台のプロジェクターからパッシブ方式 3D 専用のスクリーンに投写します。本機能を利用する場合、偏光フィルターと偏光メガネを別途ご用意ください。2 面のジオメトリ補正を行った後、本機能の 3D 設定をしてください。

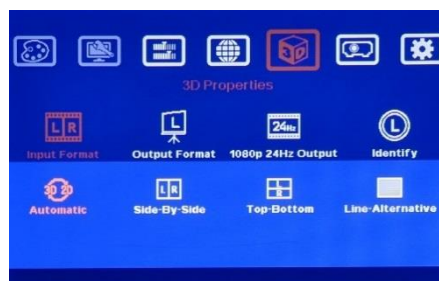
1 0-1 [Input Format]

入力ソースに適した 3D フォーマットを選択してください。

[Automatic] フレームパッキングなどの 3D フォーマット

[Side-By-Side] サイドバイサイド

[Top-Bottom] トップアンドボトム

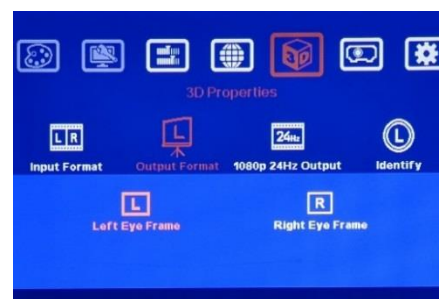


1 0-2 [Output Format]

左右のフレームを設定してください。

[Left Eye Frame] 左目

[Right Eye Frame] 右目



1 0 - 3 [1080p 24Hz Output]

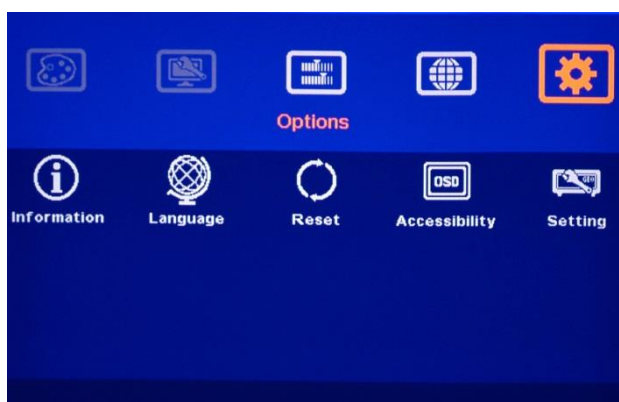
入力ソース及び接続するプロジェクターが 1080/24p 対応の場合、[Enable]を選択してください。
[Enable] 設定を有効にします。[Disable] 設定を無効にします。

1 0 - 4 [Identify]

画面の左右を確認する際に実行します。左側の出力信号は“L”、右側の出力信号は“R”と表示されます。

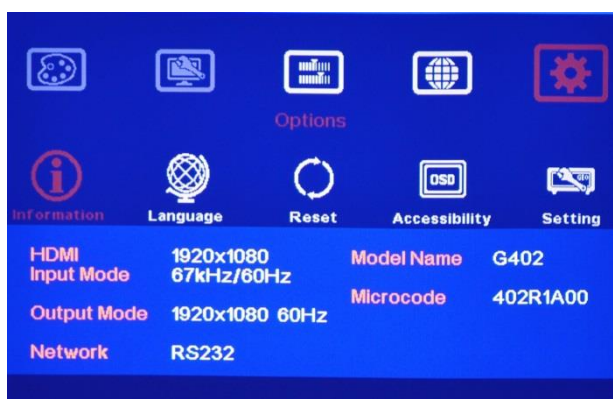
1 1 [Options] オプション設定

各種設定が行えます。



1 1 - 1 [Information] ステータス確認

出力解像度、入力解像度、モデル名とマイクロコード（ファームウェアのバージョン）を確認できます。



1 1 - 2 [Language] 言語選択

言語選択できます。初期設定は英語です。

1 1-3 [Reset] リセット

1 1-3-1 [Reset All]

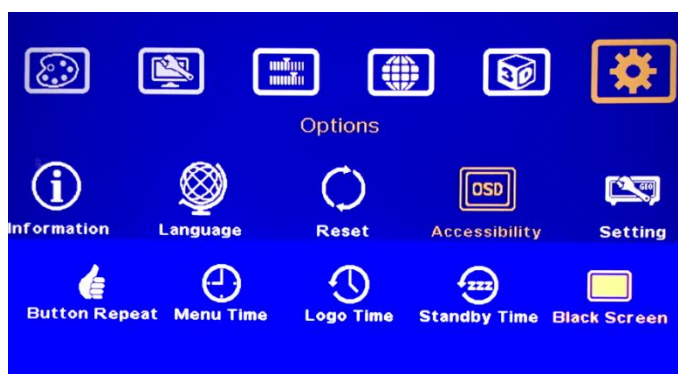
本機をリセットします。(工場出荷時状態)

※但し、[Profile] で設定した情報は残ります。

1 1-3-2 [Video Wall]

ビデオウォール設定値のみに対してリセットします。

1 1-4 [Accessibility] ボタン反応速度、メニューアウト、無信号時設定



1 1-4-1 [Button Repeat Rate]

OSD ボタン応答の設定

[Off] 数値の設定時、OSD 操作ボタンを押した時だけ応答します。

[Default] 数値の設定時、OSD 操作ボタンを押し続けると徐々に応答速度が上がります。

[Slow] 数値の設定時、OSD 操作ボタンを押し続けると[Default]よりゆっくりと応答速度が上がります。

1 1-4-2 [Menu Time out]

OSD メニュー表示タイムアウト設定

設定した時間 OSD 操作が行われないと OSD メニューは消えます。(初期設定値は、30 秒)

[Off]設定時は、OSD メニューが表示され続けます。

1 1-4-3 [Logo Time Out]

起動時の GeoBox ログ表示のタイムアウト設定

本機の起動時に GeoBox ログが設定した時間が経過するまで表示されます。

設定を OFF にすることでロゴを非表示にすることも可能です。

1 1 - 4 - 4 [Standby Time Out]

設定した時間入力信号を検知できないと、自動的に出力信号を OFF にします。

(初期設定値は、60 秒)

1 1 - 4 - 5 [Black Screen]

出力信号 OFF 時のスクリーン表示カラー設定が行えます。

[Disable]ブルースクリーン表示

[Enable] ブラックスクリーン表示

(初期設定は、Disable)

1 1 - 5 [Setting] プロファイルの保存・呼出、RS-232C、EDID 設定

1 1 - 5 - 1 [Mute]

オーディオ ON/OFF 設定。[Mute Off] はオーディオ出力が有効。

[Mute On] はオーディオ出力が無効。

1 1 - 5 - 2 [Frame Lock]

入力と出力のフレームを同期します。

複数の GeoBox をカスケード接続した場合に効果的です。

但し、入力タイミングや映像ソースの変更時、GeoBox に接続した表示機器が入力ソースの再認識を行うため、一時的に無表示になりフレーム同期をしません。

Frame lock を[Disable]に設定することで、入力タイミングや映像ソースの変更時でも GeoBox は出力し続け、一時的な無表示を回避します。

複数プロジェクターを使用し 3D 表示する場合、Frame Lock を[Enable]設定にすることを推奨します。

1 1 - 5 - 3 [Box ID]

本機の ID の割当を 1~99 まで選択可能。(初期設定値は、上段・下段モジュールともに 0)

本機の上段モジュールと下段モジュールにそれぞれ ID を割り当てることで、RS-232C またはリモコンから個別に制御できます。

ID 設定例 (上段モジュールの ID を 1、下段モジュールの ID を 2 と設定した場合)

リモコンの[8][5][1]を押した場合、ID1 の上段モジュールのみリモコン操作が有効です。

この時、ID2 に設定した下段モジュールのリモコン操作はロック状態 (無効) になります。

※リモコン操作が無効になった下段モジュールのステータス LED は緑⇄オレンジ交互に点滅します。

※[8][5][1]を押した場合、ID1 と ID0 以外のモジュールのリモコン操作が無効になります。

※[8][5][2]を押した場合、ID2 と ID0 以外のモジュールのリモコン操作が無効になります。

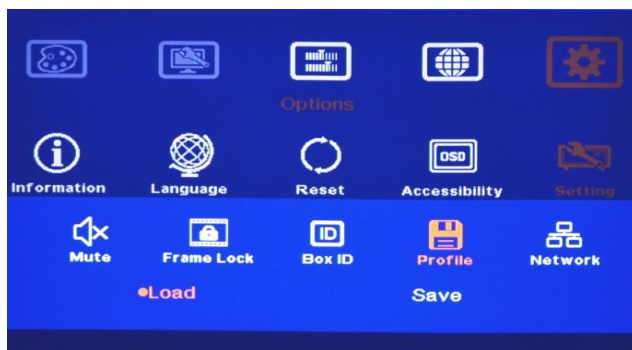
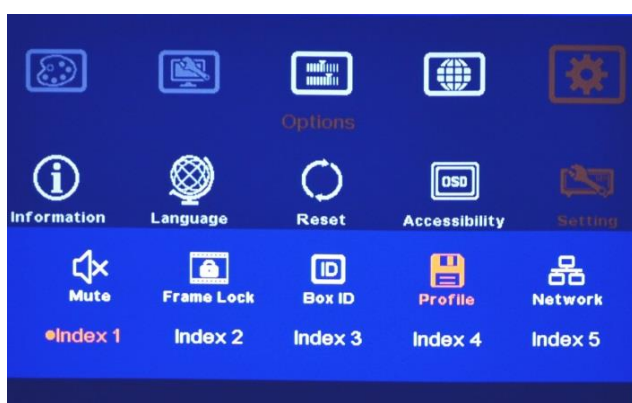
ロック状態の解除は、[8][5][0]を押すまたはリモコンの「Menu」ボタンを 5 秒長押しで実行されます。

※ID10～99 は、RS-232C からのみ制御可能。

1 1 - 5 - 4 [Profile]

入力信号や出力解像度設定を最大 5 パターン記憶し、それぞれのパターンを呼び出すことができます。

パターンの呼び出しは、リモコンまたは RS-232C 経由で実行します。



プロファイル設定の保存と呼び出しができます。

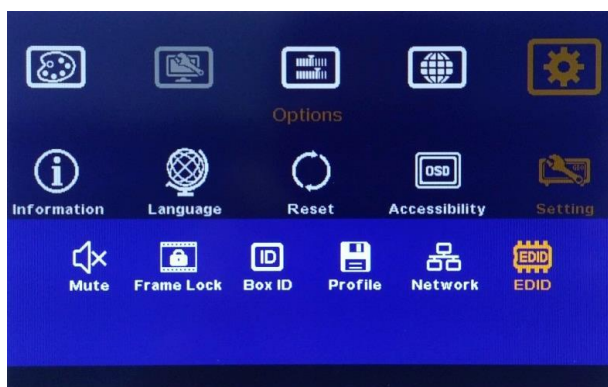
1 1 - 5 - 5 [Network]

RS-232C 経由で入力のスイッチング、プロファイル設定のパターンの保存や呼出、各種設定ができます。

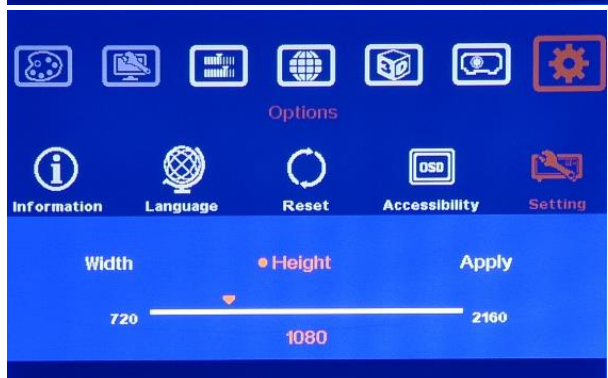
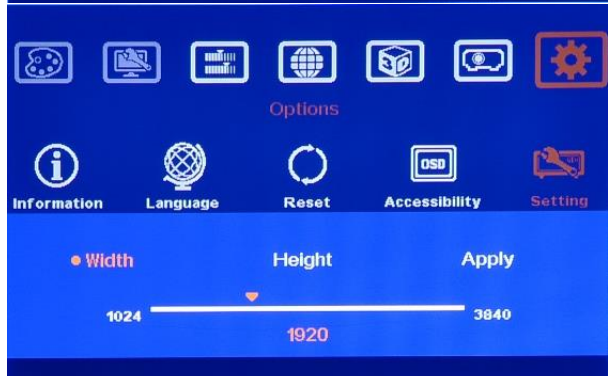
1 1 - 5 - 6 [EDID]

ソース機器から任意の解像度を正しく出力できるようにするための設定です。

ソース機器に認識させたい EDID（解像度、リフレッシュレート）を選択してください。



カスタマイズは、水平は 1024～3840、垂直は 720～2160 の範囲で設定できます。



※ソース機器の GPU 仕様や機能制限がある場合、設定した EDID が反映されないことがあります。

その場合、ソース機器側の解像度設定で任意の解像度を選択してください。

1 2 RS-232C 制御

本機の RS-232C プロトコルは、ASCII コマンドを採用しています。

1 2-1 ホストとの接続について

本機とホストは、ストレート結線の RS-232C ケーブルで接続します。

ポートは、以下の通り設定してください。

通信速度	115200bps
パリティチェック	None
データビット	8
ストップビット	1
フロー制御	None

Tera Term を使用する場合、改行コードの受信を「AUTO」、送信を「CR+LF」にして「ローカルエコー」にチェックを入れてください。

1 2-2 コマンド配列について

1 2-2-1 コード

コマンド配列は、以下 6 種類のコードを組み合わせになります。

コマンド = <ヘッダー><デバイス ID><ファンクション><引き数><バリュー><エンド>

コード	コマンド	備考
ヘッダーコード	S	アクションを実行する start の"S"を示します
デバイス ID コード	00~99	本機に登録した ID。 初期設定値は「00」
ファンクションコード	3 文字の英数字	
引き数 (アークギュメント) コード	'+' & '-'	
バリューコード	000~999	
エンドコード	<CR><LF>	

1 2-2-2 コマンド入力例

例1 : ID00の本機に対して、水平キーストーン補正 10°を実行する場合

ASCII: S00HKT+010<CR><LF>
HEX: 53 30 30 48 4B 54 2B 30 31 30 0D 0A

例2 : ID00の本機に対して、HDMI入力信号に選択切替えた場合

ASCII: S00INP+001<CR><LF>
 HEX: 53 30 30 4A 4E 50 2B 30 30 31 0D 0A

例3 : ID01の本機に対して、[Profile]の[Index1]に保存したパターンを呼出す場合

ASCII: S01PFL+000<CR><LF>
 HEX: 53 30 31 50 46 4C 2B 30 30 31 0D 0A

1 2-3 コマンド一覧

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
バーチャルリモコンキー	VKY			
0		000		
1		001		
2		002		
3		003		
4		004		
5		005		
6		006		
7		007		
8		008		
9		009		
POWER		010		
MUTE		011		
HDMI		012		
VGA		013		
DVI		014		
YPBPR		016		
DP		017		
INFO		020		
RETURN		021		
MENU		022		
EXIT		023		
LEFT		024		
RIGHT		025		
UP		026		
DOWN		027		
ENTER		028		

バーチャルリモコンキー	VKY			
OSD TIME OUT		043		
VIDEO WALL		044		
PROFILE		046		
本機電源 ON/OFF	PWR			RANGE: 0-1
電源 OFF		000		
電源 ON		001		
カラープロパティ調整				RANGE 0-100
明るさ	BRI	000-100	50	
コントラスト	CON	000-100	50	
色調	HUE	000-100	50	
彩度	XAT	000-100	50	
シャープネス	XHA	000-100	0	
VGA オートアジャスト	AUT			
入力ソース切替	INP		2	RANGE: 0-4
DVI		000		
HDMI		001		
VGA		002		
DisplayPort		003		
ビデオウォール設定				RANGE: 0-9
横ズーム	HZM	000-009	0	
縦ズーム	VZM	000-009	0	
横表示エリア	HPN	000-009	0	
縦表示エリア	VPN	000-009	0	
オーバーラップ				RANGE: +/-600
左エッジ	OLE	+/-600	0	
右エッジ	ORE	+/-600	0	
上エッジ	OTE	+/-600	0	
下エッジ	OBE	+/-600	0	
言語選択	LNG		0	RANGE: 0-2
英語		000		
中国語 (簡体字)		001		
中国語 (繁体字)		002		

リセット	RXT	RANGE: 1-3		RANGE: 1-3
本機のリセット		001		[Profile]のデータは残ります
ビデオウォールリセット		002		
[Anyplace]リセット		003		
ボタン反応速度	BRR		1	RANGE: 0-2
押した時だけ応答		000		
押し続けると徐々に応答速度があがる		001		
押し続けると 001 よりもゆっくり応答速度があがる		002		
OSD メニューアウト設定	MTO	RANGE: 0-60	30	RANGE: 0-60
タイムアウトオフ		000		
60 秒後		060		
オーディオ設定	MUT		0	RANGE: 0-1
ミュート OFF		000		
ミュート ON		001		
プロファイル保存	PFX			RANGE: 0-4
Index 1		000		
Index 2		001		
Index 3		002		
Index 4		003		
Index 5		004		
プロファイル呼び出し	PFL			RANGE: 0-4
Index 1		000		
Index 2		001		
Index 3		002		
Index 4		003		
Index 5		004		
ロゴタイムアウト	LTO	000-060	10	RANGE: 0-60
映像反転	ORI		0	RANGE: 0-5
ノーマル		000		
水平反転		003		
垂直反転		004		
水平・垂直反転		005		

1 3仕様

入力端子 ※	モジュール上段	HDMI タイプ A メス x2, DisplayPort メス x 1, DVI-I メス x 1
	モジュール下段	HDMI タイプ A メス x2, DisplayPort メス x 1, DVI-I メス x1 電源ジャック x 1
出力端子 ※	モジュール上段	HDMI タイプ A メス x 2, HDMI タイプ A メス x 1 (ループアウト)
	モジュール下段	HDMI タイプ A メス x 2, HDMI タイプ A メス x 1 (ループアウト)
制御端子		D-sub9 ピンメスx2(RS-232C) 3.5mm ミニジャック (リモコン) x2
HDCP コンテンツ		再生可 (HDCP1.4)
動作環境温度/保管環境温度		0~45℃/-20~60℃
動作環境湿度/保管環境湿度		0~85% (結露なきこと)
最大解像度	入力	3840x2160 @30Hz, 3840x1080 @60Hz, 1080p @120Hz
	出力	1920 x 1080p x 4
電源/最大消費電力		DC12V、3A / 15W
外形寸法		幅 303mm x 高さ 55mm x 奥行き 155mm (突起物含まず)
対応ラックマウントキット		G404300L0010
重量		1.8kg

※ 本機はデュアルプロセッサ搭載（リア上段、リア下段にそれぞれプロセッサ搭載）のため、上段で入力した信号は上段からのみ出力可。

但し、上段 HDMI ループ端子と連動する上段 HDMI 入力端子に入力した信号のみ、上段 HDMI ループ端子と下段 HDMI 入力端子の間を HDMI ケーブルで接続することで、下段からも出力可能です。なるべく短いケーブルでの接続を推奨します。

推奨ケーブル型番：HAML/PE0.3M (HDMI ケーブル 0.3m)

接続例

